

一般質問

12月定例会では16人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
 一般質問は、質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。
 ※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間を含めない。

国民健康保険料の水準の
統一化への対応は

日本共産党高山市議員
坂下美千代



問 もともと国保は自治体ごとの独立採算で財政運営が行われてきたが、法改正により平成30年度から「県と市の共同運営」に切り替わった。「保険料水準の統一化」つまり、保険料負担額の算定方法が、県内どの地域でも同一となるが、市の保険料はどうなるのか。

答 統一に向けて県への納付金が来年度より段階的に増加していくことが見込まれるので、保険料についても上昇していくと想定している。負担増に対する激変緩和措置を県が検討していると聞いている。県との連携会議では市の状況を伝えていくが、市独自の減免策の予定はない。

飛騨の国の国府所在地は？
サミット参加を！

未来
松山篤夫



問 10月21日に小松市において、12市の関係者が集まって「全国国府サミット」が開催された。北陸地方の国府所在自治体では、「このくに国府サミット」が開催され、調査研究の意見交換を図る機会となっている。高山市もサミットに参加し、古代国府についての研究を進めて地域の新たな魅力を創出し、交流人口の増加につながるような取組をすべきだと考えるが、市の見解は。

答 現状でサミットへの参加は予定していないが、引き続き情報収集に努めるとともに、必要に応じて試掘調査を実施してその様相の把握を行っていく。



国府町上広瀬 光寿庵跡出土瓦
(日本遺産構成文化財)

「のらマイカー」など地域の
移動手段の確保について

未来
車戸明良



問 高齢化社会に向けニーズの高まりはある中、支所ごとにダイヤが組まれおり「乗り換えがあり不便」「空っぽで走っているバスは無駄」などの声が多い。エリアやデマンドタクシーの拡大などの見直しは。

答 JAひだのAコープなどが閉店する状況を受け、住民が隣町に買い物に行けるよう、運行エリアの見直しを進めていく。検討段階だが、生活圈を考慮すると久々野・朝日・高根地域を一つにすることや、清見・荘川地域を一つにすることなどが考えられる。また、効率的な運行としてデマンドタクシーのエリア拡大などの見直しも進める。

おたふく風邪・任意予防
接種への助成について

新政たかやま
中村匠郎



問 おたふく風邪に限らず、任意予防接種については助成の対象とされていない。接種は個人の判断となるが、子育て世帯に対し、おたふく風邪の重症化リスク、予防接種のメリット・デメリットを適切に情報提供するとともに、予防接種へのハードルを少しでも下げるために助成すべきと考えるが、市の見解は。

答 これまで公費負担での予防接種は蔓延防止、死亡や重篤化予防の観点から、原則として定期接種化されたものを対象としている。今後は国の動向、他の自治体の状況を把握したうえで、接種費用の全額を自己負担としている任意の予防接種については、所得制限を設けて支援するなど、助成方法について検討していきたい。